

安全上の注意

● 取り付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けをおこなってください。
● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し、説明しています。
記号は行為を禁止する内容を告げるものです。
記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
記号の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 交流100V以外では使用しないこと
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用してください
● 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● アースを確実に取り付けること
● 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
● 浴室内など換気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)
● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
● 火災・故障の原因になります
● 火災・故障の原因になります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 作業は2人以上でおこなうこと
● レンジフードは約42/43kgの重さがあります

警告
● 金属ラシ張り、ワイヤラシ張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラシ、ワイヤラシ、金属板と電氣的に接触しないよう取り付けること
● レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラシ網など)と接触しないよう取り付けること
● 自然排気型のストープを使用するときは、空気の出入口(給気口)により十分な給気される配慮をすること
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります

注意
● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 浴室内など換気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)
● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
● 火災・故障の原因になります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 作業は2人以上でおこなうこと
● レンジフードは約42/43kgの重さがあります

取り付け上のお願い

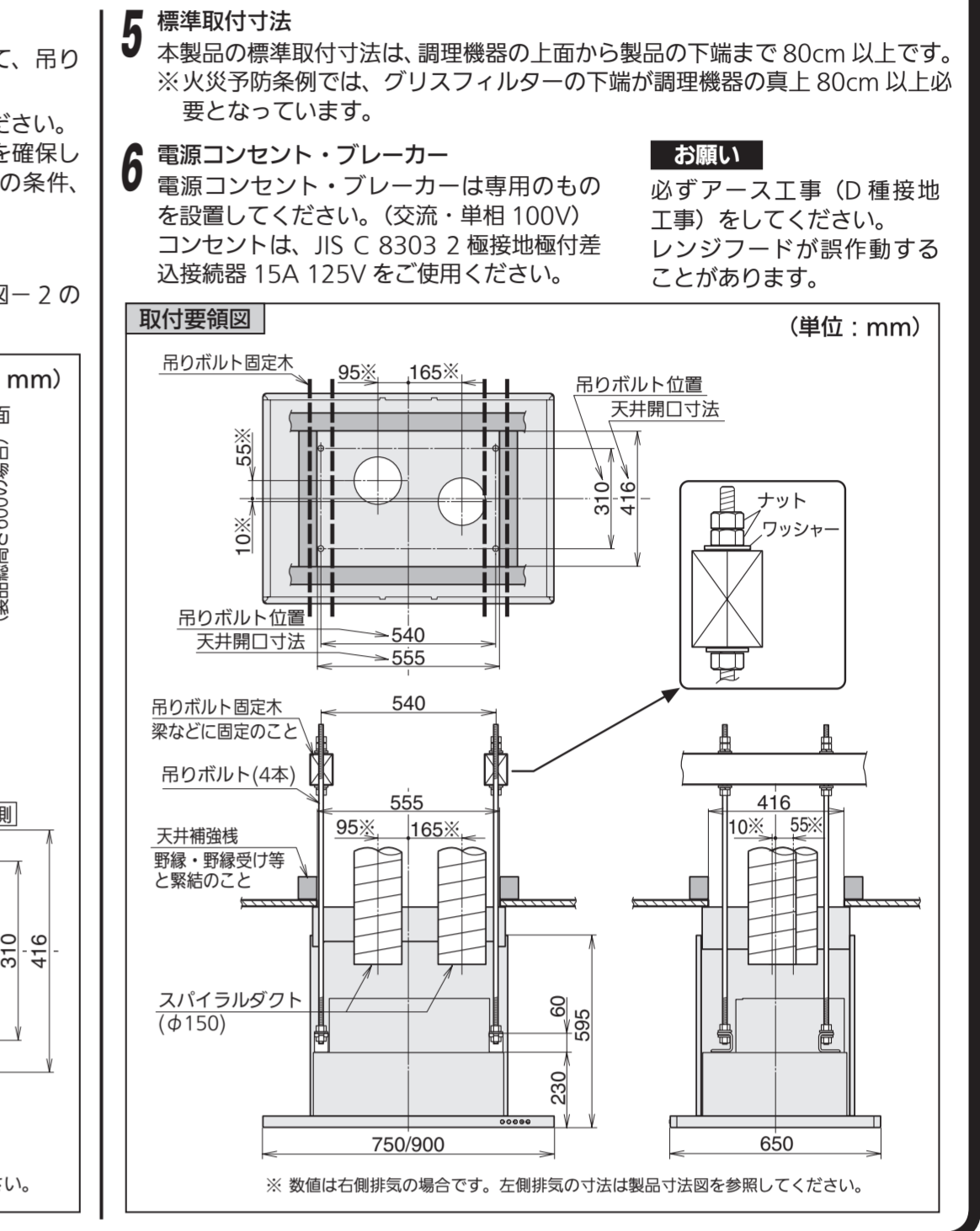
● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります
● 大工工事【設置のための下地工事等】
● 配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続等】
● 管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】
● 流通業者(販売店)を通じて組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。
● ダクトの不燃処理について
● 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご利用ください。調理機器はレンジフードの前面より手前には出して設置しないでください。捕集性能が低下します。
● 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400mm/h時 50Pa以下のものをご使用ください。防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気性能をいじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。

警告

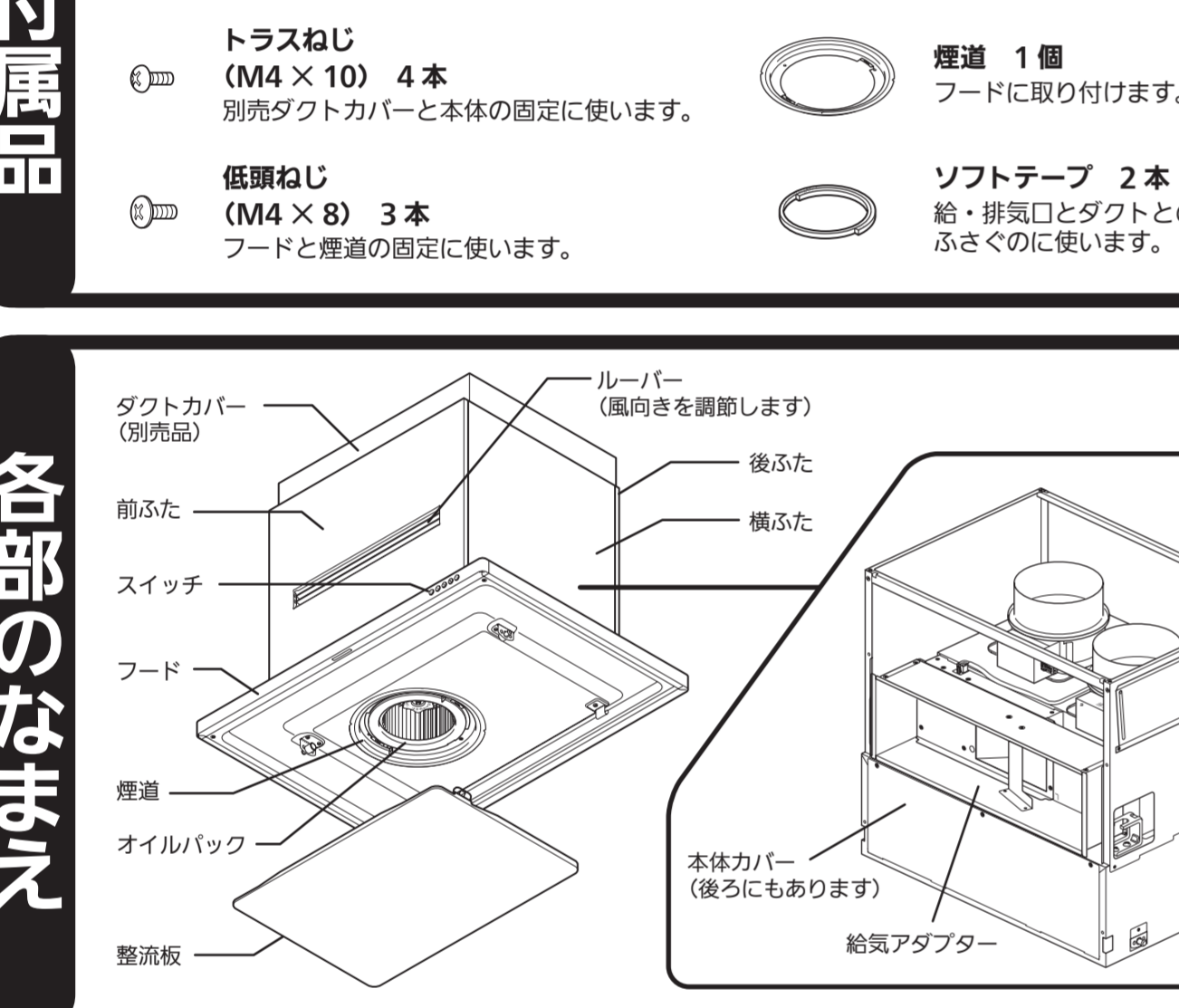
警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用してください
● 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● アースを確実に取り付けること
● 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
● 浴室内など換気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)
● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
● 火災・故障の原因になります
● 火災・故障の原因になります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 作業は2人以上でおこなうこと
● レンジフードは約42/43kgの重さがあります

取り付け前の調査と準備

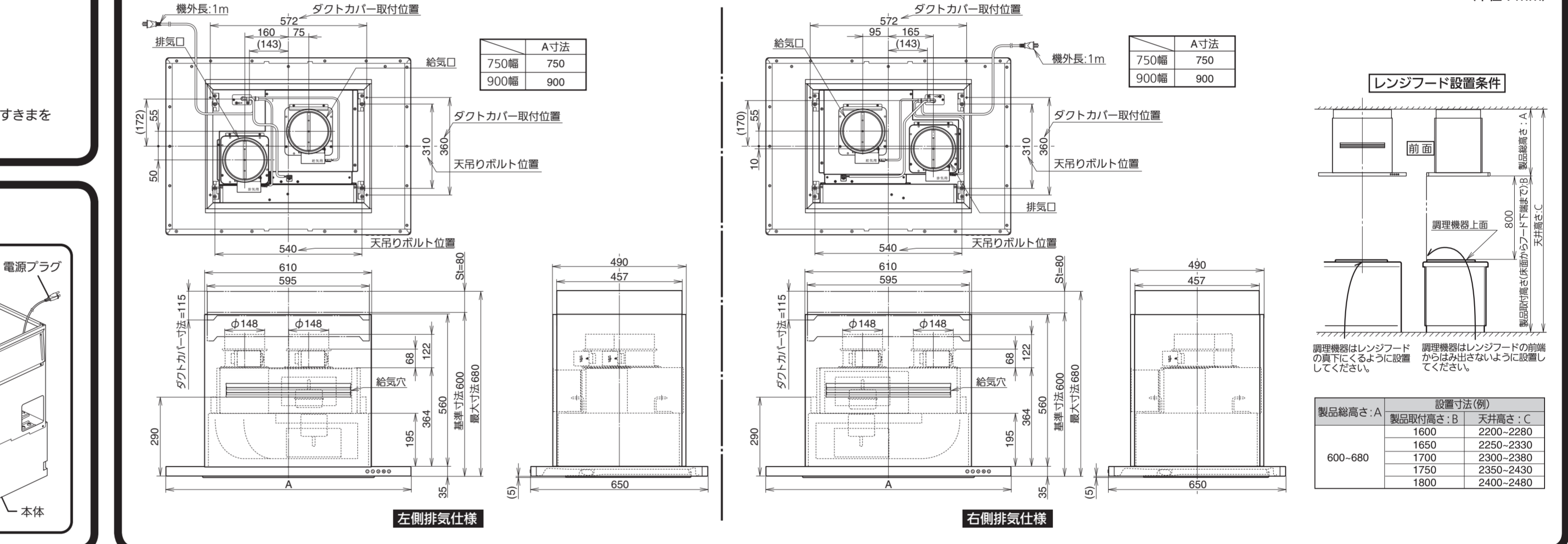
1 取り付け場所の強度確認
2 天井面への穴あけ(取付詳細図-1)
3 吊りボルトの取り付け(取付詳細図-2)
4 排気ダクトの取り付け(取付詳細図-2)
5 標準取付法
6 電源コンセント・ブレーカー
7 取付要領図



付属品



製品寸法図



取り付けかた

本書では右側排気仕様で説明しています。左側排気の場合は左右対称として見てください。

1. 付属品の確認

注意
● 取り付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
● 付属品を確認します。
● お願ひ
● フード天面に貼られている保護用テープは「7. 組み立て」にて前ふた・後ふたを取り付けるまでががささないでください。

2. 取付準備

警告
● メタルラシ張り、ワイヤラシ張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラシ、ワイヤラシ、金属板と電氣的に接触しないよう取り付けのこと
● 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用してください
● 浴室内など換気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)
● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
● 火災・故障の原因になります

3. フード・本体の準備

お願ひ
● 1 天井板をはずします。
● 2 天井板を引掛ける部

4. 本体の取り付け

注意
● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 作業は2人以上でおこなうこと
● レンジフードは約42/43kgの重さがあります

2. 取付準備
警告
● メタルラシ張り、ワイヤラシ張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラシ、ワイヤラシ、金属板と電氣的に接触しないよう取り付けのこと
● 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用してください
● 浴室内など換気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)
● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
● 火災・故障の原因になります

3. フード・本体の準備
お願ひ
● 1 天井板をはずします。
● 2 天井板を引掛ける部

4. 本体の取り付け
注意
● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 落下によりけがをすることがあります
● 作業は2人以上でおこなうこと
● レンジフードは約42/43kgの重さがあります

取り付けかたは裏面に続きます。

こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。  
安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のお願いは表面をご覧ください。

# 取り付けかた

## 4 本体を吊りボルトに固定します。(図4-4)

- お願い**
- 本体を持ち上げる際は必ず下部を持ってください。上部を持つと変形の原因となります。
  - 吹出し口のある側がフードのスイッチ側(前側)となりますので、向きを確認して取り付けてください。

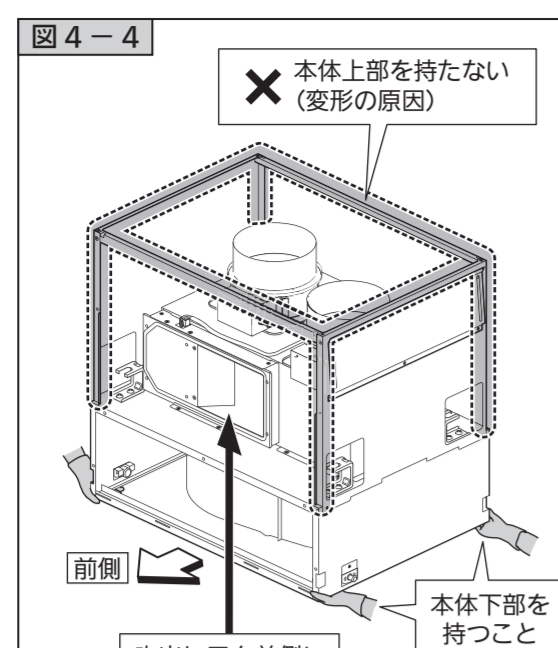


図4-4

## 1) 取り付けたダクトカバーを本体両脇のガイドで挟み込むように入れながら本体を持ち上げ、4ヶ所の吊り金具に吊りボルトを差し込み、吊り金具を挟み込むように吊りボルト下側からM10～12のワッシャーおよびナット(取付作業側手配)でしっかりと締め付けます。

- お願い**
- 給気用ダクトに給気口を、排気用ダクトに排気口を差し込みながら本体を持ち上げ、4ヶ所の吊り金具に吊りボルトを差し込み、吊り金具を挟み込むように吊りボルト下側からM10～12のワッシャーおよびナット(取付作業側手配)でしっかりと締め付けます。
  - 給気用ダクトに給気口を、排気用ダクトに排気口を差し込みながら本体を持ち上げ、4ヶ所の吊り金具に吊りボルトを差し込み、吊り金具を挟み込むように吊りボルト下側からM10～12のワッシャーおよびナット(取付作業側手配)でしっかりと締め付けます。

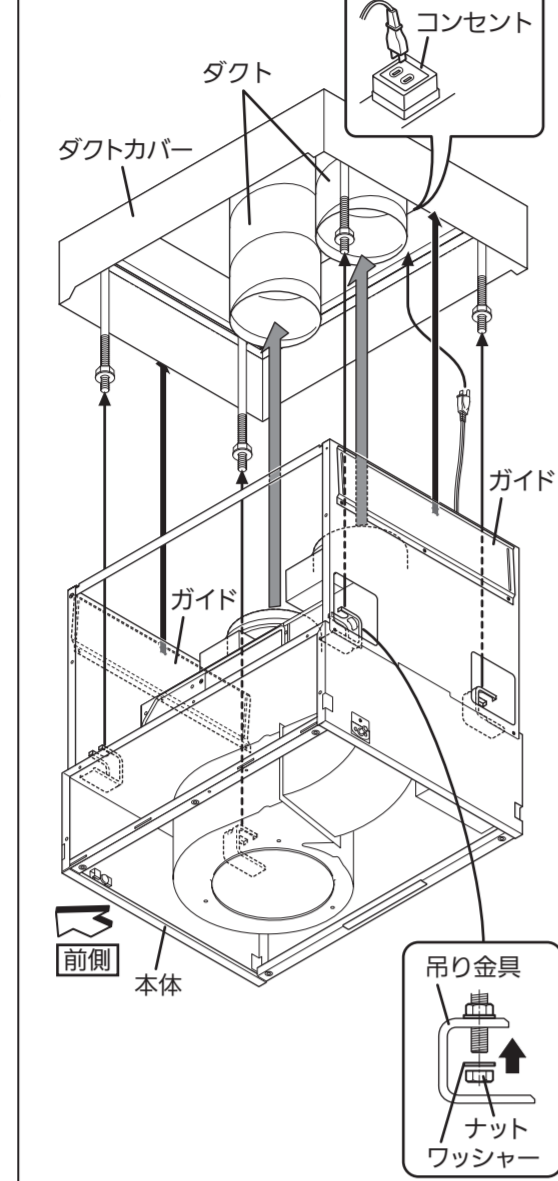


図4-5

## 5 ダクトカバーと本体(ガイド)を固定します。(図4-5)

- ガイドの底穴とダクトカバーの取付穴を合わせ、左右各2ヶ所を付属品のトラスねじ(M4×10)4本で固定します。

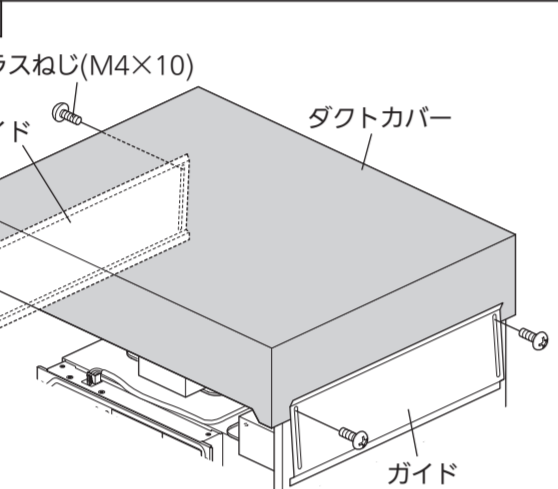


図4-5

## 6 フードを取り付けます。

- お願い**
- 保護用テープは「7. 横ふた・前ふた・後ふたの取り付け」にて前ふた・後ふたを取り付けるまではがさないでください。(図4-6)
  - 配線コード固定用テープは手順7にてコネクタを接続するまではがさないでください。(図4-6)

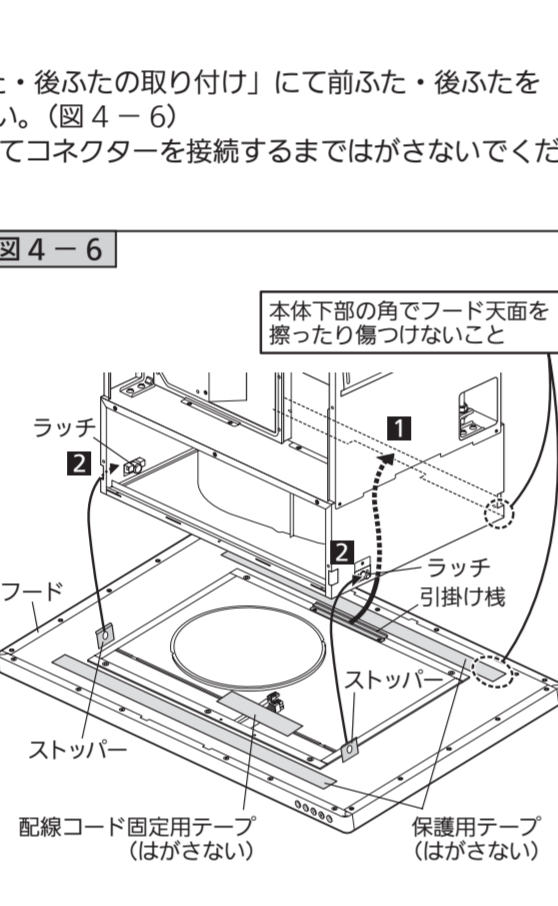


図4-6

## 1) フード後側の引掛け線を本体後側に引っ掛けます(図4-6 1)。

- お願い**
- 配線を挟まないようご注意ください。
  - 本体の角でフード天面を傷つけないようご注意ください。

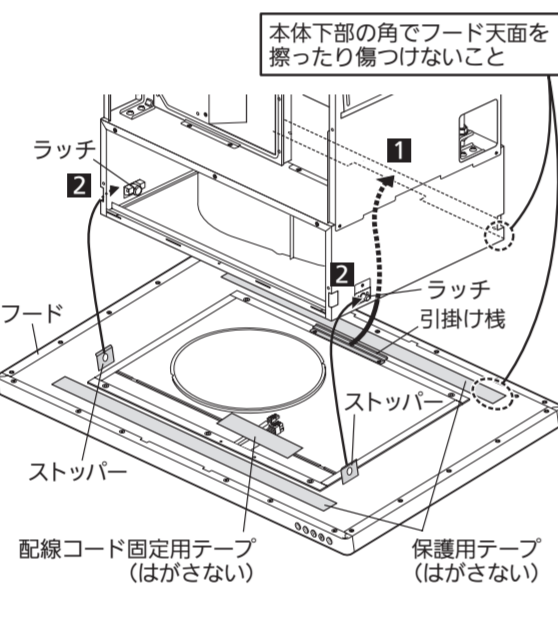


図4-6

## 2) フード前側を持ち上げ、ストッパーが本体のラッチに「カチッ」とロックされるまで持ち上げます(図4-6 2)。

- お願い**
- ストッパーとラッチが確実に引っ掛かったことを確認してください。ロックが不完全なまま作業を続けると、フード部が落下するおそれがあります。

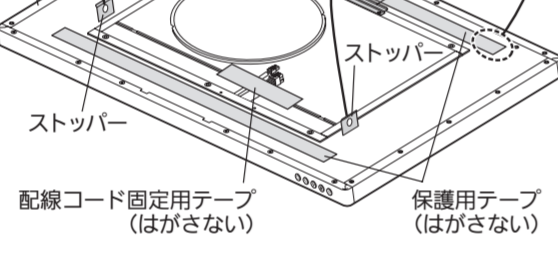


図4-6

## 3) 付属品のトラスねじ(M5×10)にて前側3ヶ所、後側2ヶ所を固定する前に、あらかじめ取付穴にねじを入れます。

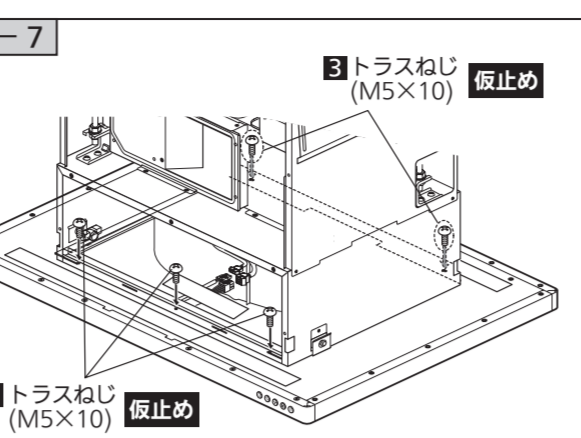


図4-7

## 7 コネクタを接続します。(図4-8)

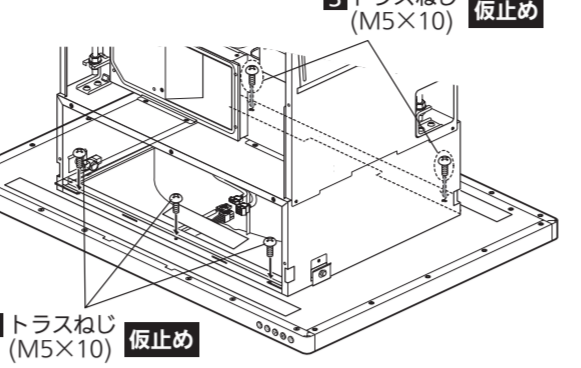


図4-8

- 配線コード固定用テープをはがし、フードから出ている電気配線のコネクタ2本を本体から出ている電気配線のコネクタに接続します。
- ※コネクタのピン数は製品仕様により異なります。
- お願い**
- コネクタの接続は確実におこなってください。接続が不十分な場合、正しく給気・排気ができなくなり、故障などの原因になります。
  - また、配線類を挟まないようご注意ください。
  - コネクタを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。

図4-8

## 8 ダクトと給気口・排気口の接続部に風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこないます。(図4-9)

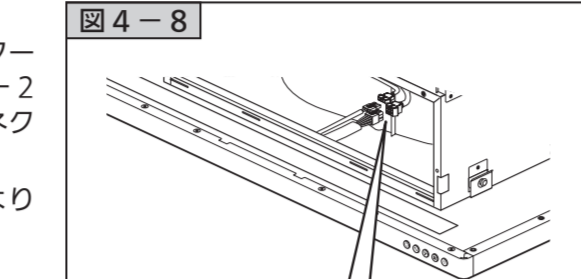


図4-9

## 9 煙道を取り付けます。(図4-11)

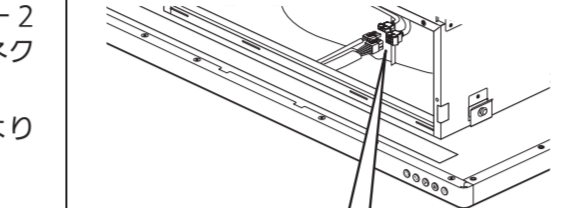


図4-11

## 付属品の煙道をフード開口部の切り欠きとねじ穴に合わせ、付属品の低頭ねじ(M4×8)3本で固定します。

- お願い**
- 切り欠きとねじ穴が合わない場合は、手順6の3) (図4-7)で仮止めたねじを調整し、穴位置を合わせてください。

図4-11

## 右側排気仕様の場合



図4-11

## 左側排気仕様の場合



図4-11

## 10 手順6の3) (図4-7)で仮止めた前側3ヶ所、後側2ヶ所のトラスねじ(M5×10)をしっかりと締め付けます。(本締め)

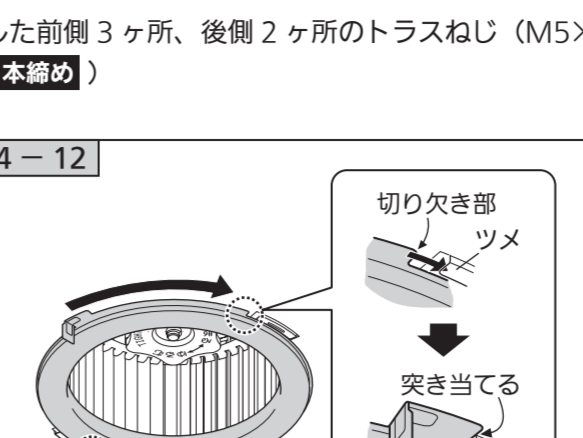


図4-12

## 11 オイルバックを取り付けます。(図4-12)

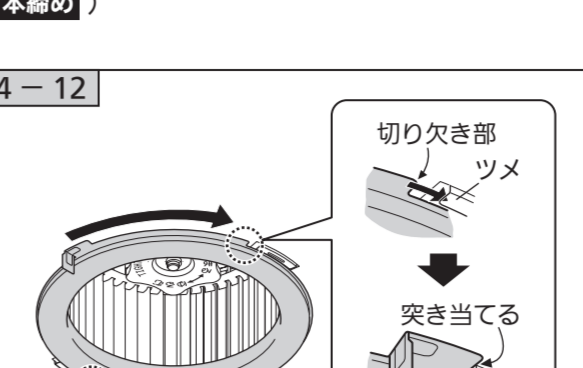


図4-12

- オイルバックの切り欠き部をツメに差し込み、ツマミ部が突き当たるまで回します。

図4-12

## 12 本体カバーを取り付けます。(図4-13)

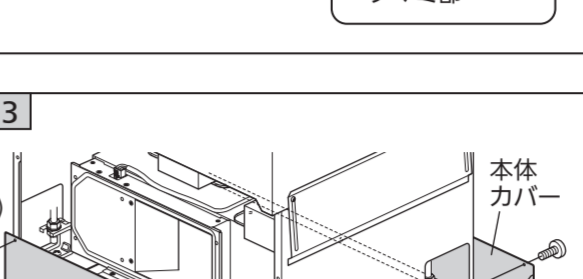


図4-13

## 「3. フード・本体の準備」手順4で取りはずした本体カバー2枚を、本体の前側下側に取付ねじ(M4×8)各3本で取り付けます。

- お願い**
- 本体カバーのツメ(各4ヶ所)をしっかりと差し込んだことを確認した上で固定してください。

図4-13

## 13 給気アダプターを取り付けます。(図4-14)

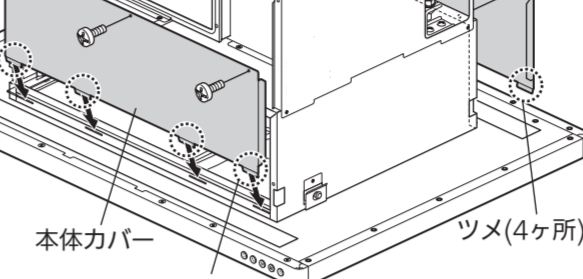


図4-14

## 「3. フード・本体の準備」手順3 (図3-4)を参考に、はずしたときと同じ向きで取り付けてください。

図4-14

## 14 整流板を取り付けます。

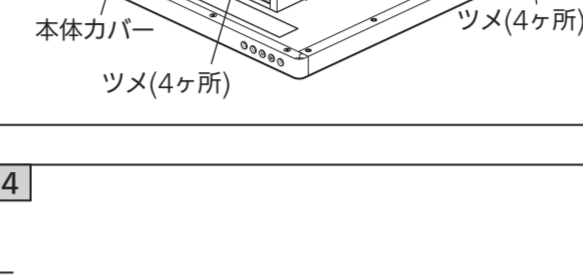


図4-14

## 「3. フード・本体の準備」で取りはずしたときと逆の手順で整流板を取り付けます。

図4-14

## 5. 電気配線



- 警告**
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと  
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります
  - 交流 100 V 以外では使用しないこと  
火災・感電の原因になります
  - 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと  
誤った配線工事は感電や火災の原因になります
  - アースを確実に取り付けること  
故障や高電圧のときに感電するおそれがあります  
アースの取り付けは販売店にご相談ください

「4. 本体の取り付け」手順4の2)で以下の作業をおこないます。

分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

**お願い**

- 電源は専用のコンセント(2極接地極付差込接続器 15A、125V)およびブレーカーを設けてください。
- 「6. 試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。
- コンセントは電源コードの長さ(機外長約1m)を考慮し、設置してください。
- 必ずアース工事(D 種接地工事)をしてください。

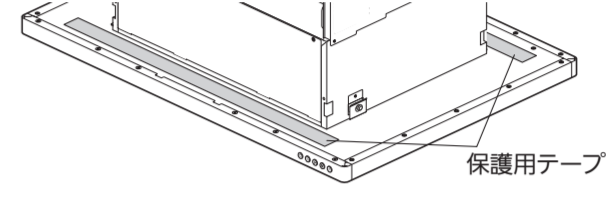
## 6. 試運転



- 注意**
- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと  
けがをすることがあります
- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。  
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調の排気・給気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

## 7. 横ふた・前ふた・後ふたの取り付け

- 横ふたは左右同一品です。
- 横ふたを先に取り付けください。
- 給気のある前ふたは必ず給気アダプターのある側に取り付けてください。
- 取り付けかたは「3. フード・本体の準備」の取りはずしかた(■本体の準備(図3-3))を参考にしてください。
- 前ふた・後ふたを取り付けた後、フード天面の保護用テープをはがしてください。



前ふたを取り付け後、前ふたのルーバーを調整して、給気風が直接天井面や顔に当たらない方向にセットしてください。

**お願い**

- 取り付ける際は、フード天面にキズをつけないように注意して取り付けてください。
- ※取付作業完了後は製品保護のため、はずした保護用のクッション材と固定テープはもとに戻しに取り付けてください。

## 8. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

【製造元】 **-FUJIOH-** 富士工業株式会社  
 本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号  
 TEL 042(768)3754 (営業部)